

平成27年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 温暖化対策課
 担当名: 総務・エコライフ推進担当
 内線: 3035 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B17	再生可能エネルギー等導入推進基金積立金			一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	さいたま環境創造基金積立金	
事業期間	平成26年度～平成28年度	根拠法令	さいたま環境創造基金条例			戦略項目	09 新エネルギー埼玉モデルの構築		
					分野施策	040203 再生可能エネルギー活用の推進			
<p>1 事業の概要</p> <p>防災拠点等に再生可能エネルギー等を導入し、災害に強く低炭素な地域づくりを推進するため、国(環境省)から交付される「平成26年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」を「さいたま環境創造基金」に積み立てた。</p> <p>基金条例において、運用益については一般会計予算に計上し基金に編入することとされている。</p> <p>予想利回りの低下に伴う予想運用益の減少 (1) 国債及び定期預金による運用益 32千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容 国からの補助金をさいたま環境創造基金に積み立て、この基金を活用して、防災拠点や災害時に機能を保持すべき公共施設や民間施設に再生可能エネルギーや蓄電池、未利用エネルギー及び高効率省エネ機器(照明、空調)の導入を支援する。 なお、基金については、会計管理課で他の基金と一括して運用している。</p> <p>ア 国債及び定期預金による運用益 7,809千円 7,777千円</p> <p>(2) 事業計画 27年度末残高 1,527,092千円 積立額 - 取崩額 1,189,638千円 運用益 7,777千円 年度末残額 345,231千円 H28年度は、H27年度までの執行状況を踏まえて実施予定</p> <p>(3) 事業効果基金の運用 再生可能エネルギー等を活用し、防災拠点や避難所等での非常用電源の確保・多重化を図る。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 市町村や民間事業者と連携し、全県的な防災拠点等の強化を図る。</p> <p>(5) 補正要求の概要 (1) 予想利回りの低下に伴う予想運用益の減少</p>					
2 事業主体及び負担区分 県(10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 なし									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	32	財産収入	32					7,777	
現計額	7,809		7,809						